

1	表題名(ふりがな)	白山(はくさん)		
2	資料名(ふりがな)	藤塚神社(ふじつかじんじゃ)		
3	作成者(所属)	小阪 大(白山市役所)		
4	内容分類	地域文化資料		
5	内容細目	伝統文化資料		
6	実施年度	令和元年(2019年)		
7	地域・場所	石川県白山市美川地区		
8	検索語(キーワード)	藤塚神社(ふじつかじんじゃ)、本吉日吉神社(もとよしひえい神社)		
9	内容	<p>手取川河口右岸砂丘地上に位置する。本殿、琴平神社、素戔鳴社から成る。大山咋神(おおやまいくのかみ)、大己貴神(おこなむちのかみ)、天照大神(あまてらすおおかみ)、大物主神(おおものぬしのかみ)、事代主神(ことしろぬしのかみ)、菅原道真公(すがわらのみちざねこう)、素戔鳴尊(すさのおのみこと)を祀る。創建は寿永年間(1182～1184)の山王権現に始まる。その後、藤塚山王社となり、明治元年(1868)に本吉日吉神社から藤塚日吉神社となり明治7年(1874)に藤塚神社となる。古くから滋賀県大津市坂本にある日吉神社の分霊してきた。5月下旬に開催される「おかえり祭り」(石川県無形民俗文化財)は、当神社の春季例大祭、1日目に東側約800mに位置する御旅所へ神輿を先頭に16基の山車と獅子舞が街中を練りまわる。1日目を神幸祭(しんこうさい)と呼ぶ。2日目は御旅所から神社まで、神輿、獅子舞、山車が練り歩く。2日目を還幸祭(かんこうさい)と呼ぶ。2日目の通称「おかえり筋」と呼ばれる町会がその年の祭事全般を司る。</p>		
10	特色	砂丘上に立つ山王社系神社、北前船によって搬入した文化を祭事等に色濃く残している		
11	提示種類	静止画、JPEG		
12	関連資料			
13	利用分野	デジタルアーカイブ、民俗記録資料		
14	ファクトデータ			
15	プロセス			
16	結果			
17	記録媒体	静止画、JPEG		
18	権利者(連絡先)	白山市観光文化スポーツ部文化財保護課		
19	協力者(連絡先)	小阪 大(白山市役所)		
20	許諾情報			
21	利用注意			
22	登録日	2019年12月1日		